



株式会社ニコンは、1917年の設立以来、国内外の市場において、光学技術のパイオニアとしての道を切り開いてきました。現在、デジタルカメラを中心としたカメラ関連製品、双眼鏡、メガネレンズなどの消費財用光学製品から、半導体露光装置、液晶露光装置、顕微鏡、測定機などの産業用精密機械まで、高い技術力をもとにさまざまな製品を提供しています。

2010年3月期は、厳しい事業環境が続く中、減収・赤字決算という結果になりました。しかしながら、グループ全体で構造改革に取り組み、下期では営業黒字を確保しました。引き続き、収益力強化と先端製品の開発に取り組み、2012年3月期における継続的な成長路線への速やかな復帰を目指します。

今後とも、「信頼と創造」という変わらぬ企業理念のもと、先進的な技術力・商品力・営業力を最大限に活かし、お客様の期待を超えた製品の創造に努めていきます。

## 目次

各セグメントの概要	1	トピックス	21
財務ハイライト	2	CSR（企業の社会的責任）を重視した	
株主・投資家の皆様へ	3	経営の推進	22
トップインタビュー	4	財務セクション	24
営業の概況	8	ニコングループの体制	55
精機カンパニー	8	グループ会社一覧	56
映像カンパニー	12	取締役、監査役および執行役員	58
インストルメンツカンパニー	16	株主情報	59
その他の事業	20		

このアニュアルレポートに記載されている、株式会社ニコンならびにその子会社または関連会社であるニコングループ各社（以下総称して「ニコン」）の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは各資料発表時点においてニコンの経営方針にのっとり入手可能な情報およびニコンが合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものです。したがって、主要市場における経済情勢、製品・サービスに対する需要動向、顧客の設備投資の動向、為替相場の動向など、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている見通しとは、異なる結果となり得ることをご承知おきください。

本書は、英語による株式会社ニコンの2010年3月期のアニュアルレポート(Nikon Corporation Annual Report 2010)の翻訳版です。

# 各セグメントの概要

## 精機事業



ニコンの露光装置は、世界の半導体・液晶ディスプレイ製造を最先端の技術で支え、高度化する情報社会に貢献しています。

## 映像事業



デジタル画像技術などを駆使して、多彩な機能を搭載した製品を提供し、新しい写真の楽しみを広く世界に提案しています。

## インストルメンツ事業



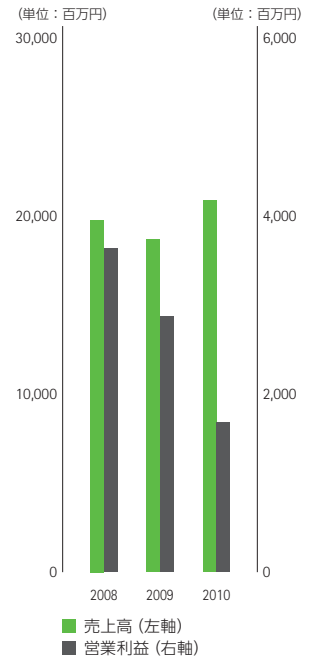
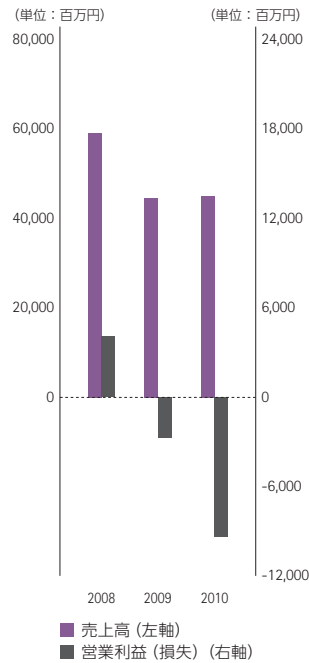
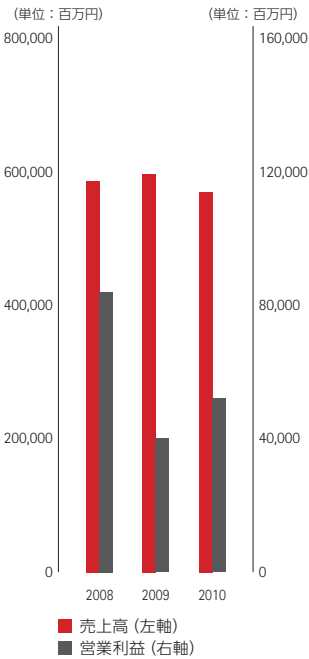
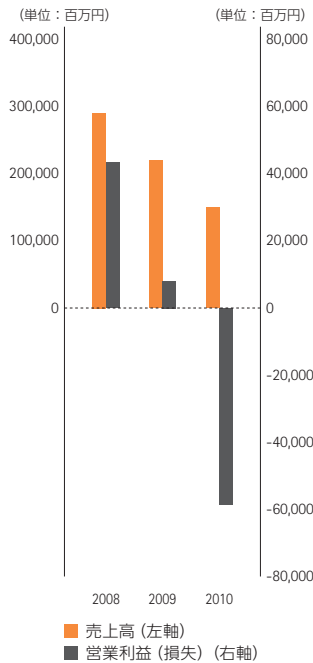
ミクロを見つめる確かな眼が、バイオサイエンスの発展に寄与し、産業機器分野での高精度測定の高効率化に貢献します。

## その他の事業



主力事業のほかにも多彩な事業を展開し、広く社会のニーズに応えています。また、そこから明日の事業を育てています。

売上高と営業利益（損失）  
3月31日終了事業年度



売上高構成比

